

【意見交換会資料】

【テーマ2】

工事に係る労働安全の確保について

- ・今年度工事における優良事例
- ・改善が必要と考えられる事例
- ・現場における優良事例写真

【テーマ2】

意見交換会資料
平成29年3月9日
近畿中国森林管理局 治山課
森林整備課

工事に係る労働安全の確保について（現場における事例）

～今年度の工事における状況について～

1、今年度工事における優良事例について

(1) 会社としての取組事例

- ⑥ 近隣の現場代理人同士で毎月打ち合わせを実施し、作業予定、通行規制予定の情報共有を行った。
- ⑦ 都市部での現道保護工として仮設した敷鉄板が凍結し、歩行者が転倒しないようヤシ繊維の養生マットを敷設した。（事例写真参照）
- ⑧ 住宅地に近い道路を散水車によって清掃を行うことで、スリップ、粉じん飛散防止に努めた。（事例写真参照）
- ⑨ 法面工事に使用する親綱について、自社の廃棄基準を設けるとともに、異常が見られなくとも使用期限を4ヶ月以内とした。（事例写真参照）
- ⑩ バックホウに後方の安全確認のため、バックモニターを設置した。（事例写真参照）

(2) 現場における取組事例

- ⑦ 法面工事の実施において、親綱の切断を防止するため、岩にできるだけ接触しないよう単管を配置するとともに摩耗防止の道具を使用した。（事例写真参照）
- ⑧ 林業専用道開設現場で、監視員を配置し切土作業実行中のバックホウオペレーターに下方を車両が通行することをパトライトで伝達できるようにした。
- ⑨ キャットウォーク上での作業の際、ロリップ式の安全帯を着用し単管足場に固定することで転落防止を図った。
- ⑩ 通勤途中の見通しの悪い箇所に、視線誘導も兼ねた転落防止措置を行った。
- ⑪ 切土面の落石対策としてネットによる保護や、降雨による土砂流出対策としてブルーシートによる保護を行った。（事例写真参照）
- ⑫ クレーン車のブームの先端部にカメラを設置することで、オペレーターが直下の状況を直接確認できるようにした。（事例写真参照）

2、改善が必要と考えられる事例

(1) 施工途中の行動関係

- ⑩ 保護具（保安帽、手袋）の未着用や、半袖による現場作業がみられた。
- ⑪ 林道走行の際に速度の超過がみられた。
- ⑫ 工事資材を放り投げて受け渡されていた。
- ⑬ 大型車同士が合図としてクラクションを鳴らすことにより、都市部において近隣住民から苦情が寄せられたケースがあった。
- ⑭ キャットウォークについて幅が規定以下であったり、道具等の落下防止の幅木が設置されていないケースがあった。
- ⑮ コンクリート打設作業が固定されていない不安定な足場板の上で実施されていた。
- ⑯ 荷吊の際、変形した吊金具や、よじれたワイヤーが使用されていた。
- ⑰ 谷止上流側の掘削土砂を積み上げ、浸食防止のためにブルーシートで養生されたが、シート内部が飽和状態にないか状況が確認されていなかった。
- ⑱ 谷止工の完成検査の際、関係者が多いため転落の危険があった。

(2) 資機材等の保管関係

- ④ 工事支障木が流木のある谷に集積されていたケースがあった。
- ⑤ 休工日の重機の保管が安全にされていないケースが見られた。
- ⑥ タバコの吸い殻が所定の場所以外で見受けられた。

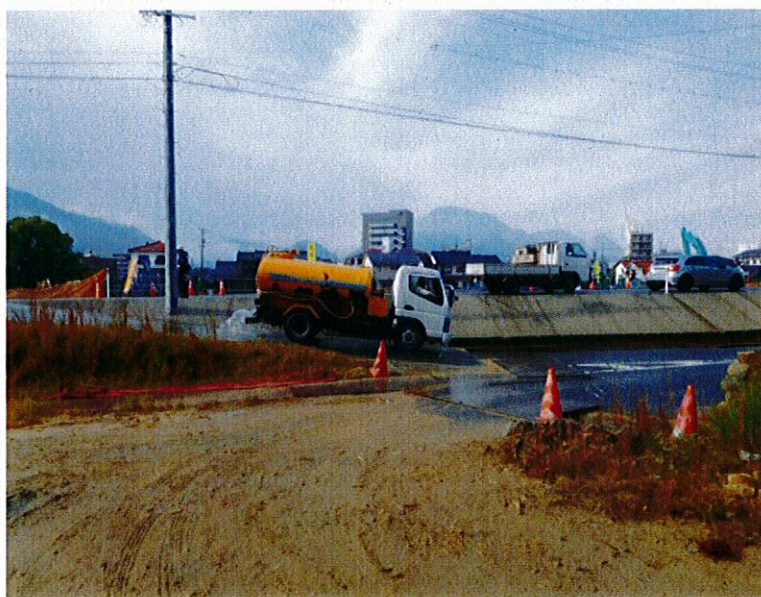
(1)会社としての取組事例 ②

現道保護工としての敷鉄板に凍結により歩行者が転倒しないようにヤシ繊維の養生マットを敷設した。



(1)会社としての取組事例 ③

住宅地に近い道路を散水車によって清掃を行い、スリップおよび粉じん防止に努めた。



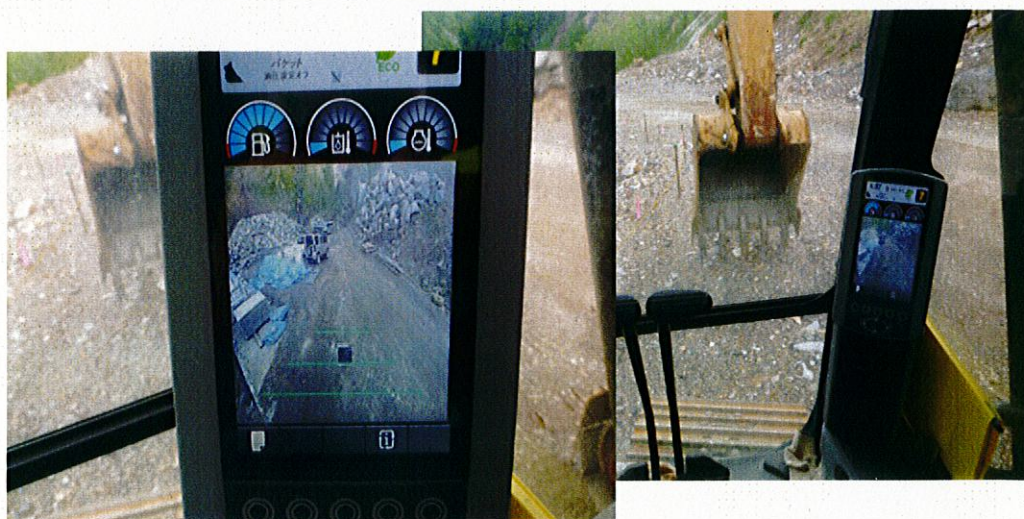
(1)会社としての取組事例 ④

親綱の自社廃棄基準を設けるとともに、異常が見られなくとも使用期限を4ヶ月以内とした。



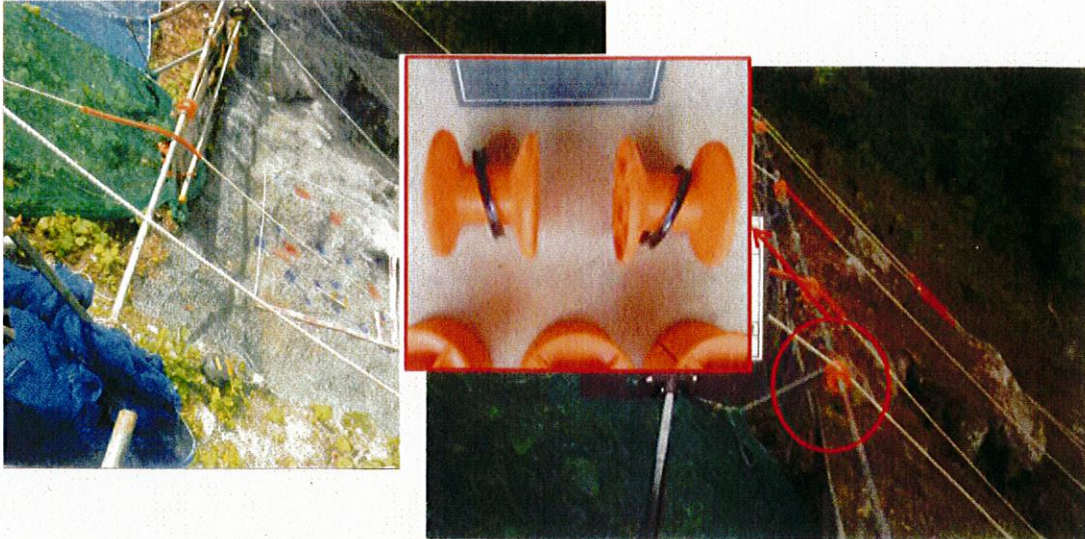
(1)会社としての取組事例 ⑤

バックホウに後方安全確認のためのバックモニターを設置した。



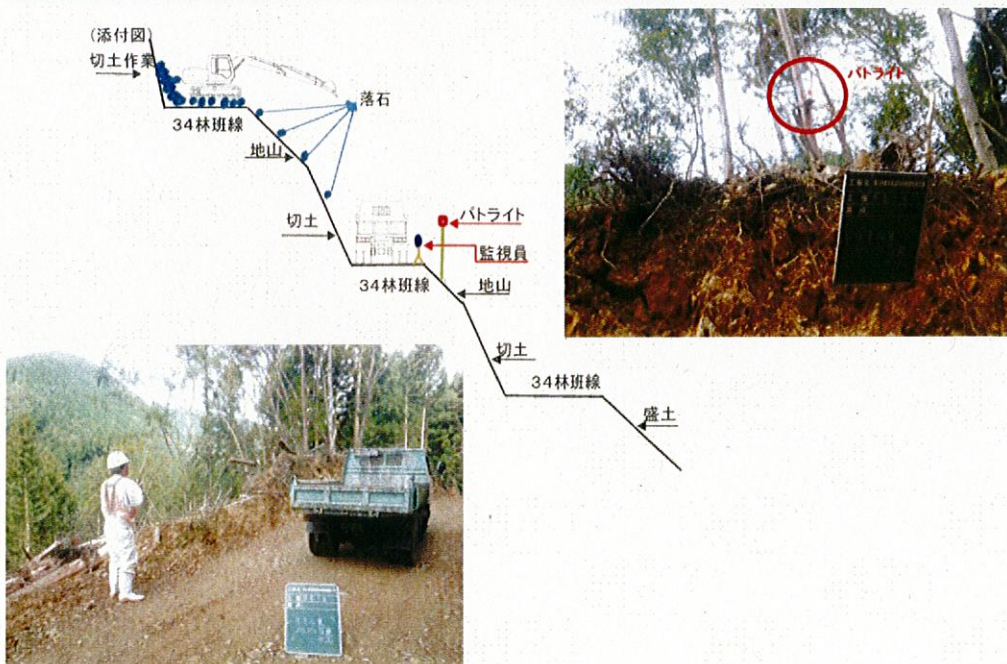
(2)現場における取組事例 ①

親綱の切断防止のため、単管を配置するとともに摩耗防止の道具を使用した。



(2)現場における取組事例 ②

監視員を配置し、切土作業中のオペレーターに車両の通行をパトライトで伝達した。



(2)現場における取組事例 ⑤

切土面の落石対策としてネットによる保護や、降雨による土砂流出対策としてブルーシートによる保護を行った。



(2)現場における取組事例 ⑥

クレーン車のブームの先端部にカメラを設置することで、オペレーターが直下の状況を確認できるようにした。



【テーマ2】

意見交換会資料
平成29年3月8日
近畿中国森林管理局 治山課
森林整備課

工事に係る労働安全の確保について（現場における事例）

～今年度の工事における状況について～

1、今年度工事における優良事例について

(1) 会社としての取組事例

- ① 近隣の現場代理人同士で毎月打ち合わせを実施し、作業予定、通行規制予定の情報共有を行った。
- ② 都市部での現道保護工として仮設した敷鉄板が凍結し、歩行者が転倒しないようヤシ繊維の養生マットを敷設した。（事例写真参照）
- ③ 住宅地に近い道路を散水車によって清掃を行うことで、スリップ、粉じん飛散防止に努めた。（事例写真参照）
- ④ 法面工事に使用する親綱について、自社の廃棄基準を設けるとともに、異常が見られなくとも使用期限を4ヶ月以内とした。（事例写真参照）
- ⑤ バックホウに後方の安全確認のため、バックモニターを設置した。（事例写真参照）

(2) 現場における取組事例

- ① 法面工事の実施において、親綱の切断を防止するため、岩にできるだけ接触しないよう単管を配置するとともに摩耗防止の道具を使用した。（事例写真参照）
- ② 林業専用道開設現場で、監視員を配置し切土作業実行中のバックホウオペレーターに下方を車両が通行することをパトライトで伝達できるようにした。
- ③ キャットウォーク上での作業の際、ロリップ式の安全帯を着用し単管足場に固定することで転落防止を図った。
- ④ 通勤途中の見通しの悪い箇所に、視線誘導も兼ねた転落防止措置を行った。
- ⑤ 切土面の落石対策としてネットによる保護や、降雨による土砂流出対策としてブルーシートによる保護を行った。（事例写真参照）
- ⑥ クレーン車のブームの先端部にカメラを設置することで、オペレーターが直下の状況を直接確認できるようにした。（事例写真参照）

2、改善が必要と考えられる事例

(1) 施工途中の行動関係

- ① 保護具（保安帽、手袋）の未着用や、半袖による現場作業がみられた。
- ② 林道走行の際に速度の超過がみられた。
- ③ 工事資材を放り投げて受け渡されていた。
- ④ 大型車同士が合図としてクラクションを鳴らすことにより、都市部において近隣住民から苦情が寄せられたケースがあった。
- ⑤ キャットウォークについて幅が規定以下であったり、道具等の落下防止の幅木が設置されていないケースがあった。
- ⑥ コンクリート打設作業が固定されていない不安定な足場板の上で実施されていた。
- ⑦ 荷吊の際、変形した吊金具や、よじれたワイヤーが使用されていた。
- ⑧ 谷止上流側の掘削土砂を積み上げ、浸食防止のためにブルーシートで養生されたが、シート内部が飽和状態にないか状況が確認されていなかった。
- ⑨ 谷止工の完成検査の際、関係者が多いため転落の危険があった。

(2) 資機材等の保管関係

- ① 工事支障木が流木のある谷に集積されていたケースがあった。
- ② 休工日の重機の保管が安全にされていないケースが見られた。
- ③ タバコの吸い殻が所定の場所以外で見受けられた。